

ねいの里 ホオホオニュース



ホクリクサンショウウオ第2託児所に産卵確認 (4/17)

平成22年4月17日 ホクリクサンショウウオ第2託児所に始めて2双のホクリクサンショウウオの産卵が確認されました。第2託児所は平成13年に造成され、継続的に幼生や卵嚢を第1託児所から放流してきました。ホクリクサンショウウオは生まれた池の環境を何らかのかたちで記憶し、生まれた池に戻ってくると思われていますが、増殖は非常に難しいとされ、今回第1託児所に続き第2託児所にも産卵が確認されたことは、保護対策上大変貴重な成果です。これからも大切に守って行く為に、皆さんの御協力を御願います。

クリクサンショウウオ第2託児所の経過

- H13/7/26 工事開始
- 8/13 完成
- 8/18 「ジュニアナチュラリスト研修会」で幼生12頭放流
- H16/4/23 「ロシア渡り鳥交流」で幼生50頭放流
- H19/4 卵嚢10双放流
- H22/4/14 第2託児所で2双の産卵を確認



造成時の第2託児所



今年確認された卵嚢

破竹の勢いでチャレンジします

安藤誠也

自然塾の皆さん、はじめまして。4月から、ねいの里に勤務しています安藤誠也です。まずは私の自己紹介から。生まれと育ちは京都府で、学生時代はイノシシやタケの調査で滋賀県の里山を歩いていました。イノシシは富山県でもだんだんと見られるようになってきました。ねいの里周辺でも目撃されています。

次はタケの話題です。タケの仲間にはタケ類とササ類がありますが、両者の違いは節が成長して大人になったら、節の皮がすぐ取れてしまうのがタケ類、そのままついているのがササ類です。富山ではモウソウチクとマダケが里山周辺でよく見られますが、これはタケ類です。里山よりも標高の高いところには、ネマガリタケもありますね。これは名前にタケと付いているのに、ササ類なのです。

富山県内にポピュラーに生えている大型のタケ類はモウソウチクとマダケで、これらの簡単な見分け方を紹介します。タケには節がありますが、節の盛り上がり指でなぞって、1つだけポコっとしていたらモウソウチク、ポコポコっと2つあればマダケです。

ねいの里に来て2ヶ月が経ちましたが、毎日が発見の連続です。着任したころ冬の芽だったコナラの木が淡い緑の若葉を出した、と思ったら、今は濃い緑の葉に変化しています。展示館の中から時折指で四角い枠を作っては、自分だけのアングルで自然のアートを楽しんでいます。皆様にねいの里でお会い出来ることを楽しみにしております。



里に山にほかに

私のジュニアナチュラリスト活動

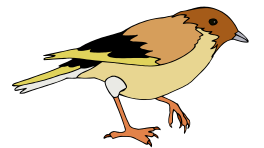
垣地 健太



私はトンボを中心とした生き物に興味があり、友達からの紹介によりジュニアナチュラリストに入りました。ジュニアナチュラリストの研修中は何もかもが新鮮でトンボ以外の生き物に興味を持つきっかけともなりました。研修やねいの里での自然観察会などの参加により、今ではトンボ以外にも野鳥や植物などにも興味を持ち、自然観察を行うたびにいろいろな生き物に目を向け、そのたびに新しい発見があります。

また、ジュニアナチュラリストになって同じ生き物に興味がある仲間に出会い、その仲間と野鳥を見るために遠出する事が今の楽しみの一つでもあります。また、ロシアの渡り鳥標識識別調査でロシアのウラジオストックやラドガーへ行った事は忘れもしない思い出です。ロシアへ行く前は言葉が通じることか心配だったが、いざ現地に行ってみるとわからない言葉はお互いにボディランゲージや英語で補い、一緒に調査や生活を送ることで徐々に不安などが解消されて、富山に戻ってきたらロシアでの生活も良かったなと思えました。

富山県に住んでいた時は水辺の野鳥ばかり観察していました。しかし今は長野県に住んでいるので山の野鳥を観察しています。そして野鳥識別の幅を広げる為に晴れている日は近くの森林公園などに出かけ自然観察をしています。大学では森林や田園のことを勉強しています。まだ考えている途中なのですが卒業研究は野鳥に関連した事を行いたいと考えていますが、そのためには知識を養う必要があるため、これからも自然観察を行う時間を大切にして精進していきたいと思っています。



活動をふりかえり

バードウォッチング (5月16日 古洞の森・野鳥の園)

さわやかな五月晴れ。新緑の[古洞の森・野鳥の園]でのバードウォッチングです。ドングリ橋近道コースを一周します。歩き始めてすぐ、何か白いものがフワフワ舞っています。風に吹かれてヤマナラシの綿毛が舞っているのです。「一筆啓上仕り候」「一筆啓上仕り候」松の梢でホオジロが鳴いています。

ツピーツピー・ツピーツピー ネクタイを締めたシジュウカラも頑張っています。水面には北へ帰るのを忘れたのか、マガモとキンクロハジロが数羽のんびり。天文台の前に着きました。

誰かが声をあげ「あっ！ノウサギ」。続いてキツネも飛び出しました。キツネがノウサギを追いかけていたようです。見られた人はラッキー！子育て真っ最中のカワウのコロニーを見ながらドングリ橋を渡ります。空を見上げると、猛禽類が気持ちよさそうに飛んでいます。ミサゴ、サシバ、チョウゲンボウ、ハチクマ。上昇気流に乗りどんどん高くなります。休憩舎で一休み。キビタキの鳴き声が聞こえます。見たかった小鳥の一つです。鳴き声のする方を必死で探します。すぐそこにいるのに、見つかりません。

残念！鳴き声を聞きながら、新緑のトンネルを通過してダムへ戻ります。気持ちのいい森林浴とバードウォッチングでした。



記：松崎 勇

自然塾の会

毎月第1土曜日が活動日です。

塾の会活動日のうち、ねいの里との共催行事には参加予約が必要です。
 お気軽にねいの里へお越しください！ (都合のよい時間だけの部分参加も歓迎です。)
 昼食は各自ご持参ください、炭焼き小屋の囲炉裏をかこんでわいわい楽しく食べましょう。

6月19日(土)	7月3日(土)
○ 午後6時30分 ~ 20時30分 ・ 囲炉裏とヘイケボタル鑑賞 水生庭苑でヘイケボタルの観察会を行います。炭焼き小屋集合	○ 午前9時30分 ~ 12時 ・ 生き物との共生セミナー ねいの里の生き物観察を行います。
参加者/定員なし	参加者/定員なし

平成22年度会費未納の方は会費の入金をお願いします。また新入会員も大歓迎です。

湯浅塾長(財)日本鳥類保護連盟 総裁賞受賞

ねいの里館長でもある湯浅純孝塾長は5月16日金沢市で開催された、環境省主催の「全国野鳥保護のつどい」で最高賞である「財団法人 日本鳥類保護連盟総裁賞」を同連盟の総裁である常陸宮様から直接受与されました。

鳥獣保護センターの設置や北アルプスでの雷鳥の生息調査への貢献、日口間の渡り鳥保護の為の、ロシアとの渡り鳥共同調査の実施、ホクリクサンショウウオなど絶滅の恐れのある水辺の生き物のためのビオトープ造成など、これまでの多年の野生生物の保護に尽力された事が評価された物です。心からお祝いを申し上げます。

■ 特別展示

7月 1日 ~ 8月30日 ネーチャーフォト展 自然写真展
 7月16日 ~ 8月30日 県内のカブト・クワガタ展

■ お願い ■

- 会員の駐車場利用について
 会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラルリスト駐車場を利用する事が出来ます。

発行 生き物ふれあい自然塾 塾長 湯浅純孝

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1 自然博物館ねいの里内

Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

ふくろう通信

第18号
 2010年6月17日
 生き物ふれあい自然塾



今日のふくろう先生は

薬師 正人さん

カメラいじりが大好き



私はふくろう先生をいつも悩ませている“落ちこぼれ生徒”です。花や虫の名前などすぐ忘れ、同じことを何度でも聞いています。そうだ！習ったことを写真に残そう。写真を見れば思い出すかも。またわからないことは、撮ってきた写真で教えてもらえるかも。ところがいざ写真を撮り始めると次々に欲が出てきます。花や虫をもっと大きく写したい。カメラメーカーはいろいろな交換レンズを開発して対応していますが、それらを購入しなくても撮影できないだろうか。

花や虫など大きく写すとき、“接写レンズ”があれば便利です。しかし、普通のレンズでも“接写リング”があれば写せます。カメラとレンズの間に入れて間隔を広げる部品です。

理論的には、その間隔を広げるほど大きく写すことができます。私は水道工事に使う塩ビ管を加工して特別長いものを作り、虫メガネがないと見えないほど小さいものを写してみました。カンアオイに産み付けられたギフチョウの卵やウマノスズクサに産みつけられたジャコウアゲハの卵など、画面いっぱい拡大して観ると、自然の神秘や美しさを改めて感じる事が出来ます。しかし、大きく写すほどピントの合っている前後のものが大きくぼけてしまいます。

昆虫学者の栗林慧氏は、昆虫とその背景が同時にピントの合う“超深度接写レンズ(虫の目レンズ)を製作し、そのレンズで撮影された素晴らしい写真集を発表しておられます。私はその写真集に憧れ、自分でもぜひそんなレンズを作りたいと挑戦しています。また、鳥撮りにもはまっていて、天体望遠鏡を改造した超望遠レンズにも取り組んでいます。けれども、次々に新たな課題が出てきます。湧き出る欲望に知識や技術がついてゆけず、悩みながらレンズ改造の泥沼に溺れている私と誰か一緒に溺れてみませんか……。



野鳥撮影用の望遠レンズ



昆虫撮影用の接写レンズと各種の試作パーツ?